

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社ジェーシービー（証券コード：-）

### 【据置】

長期発行体格付	AA-
格付の見通し	安定的
債券格付	AA-
国内CP格付	J-1+

### ■格付事由

- (1) 1961年に三和銀行（現三菱UFJ銀行）を中心に設立されたカード会社。ブランド事業、カード事業、加盟店事業、プロセッシング事業などを行っている。日本で唯一の国際カードブランドの運営主体として、「JCB」を展開している。格付は、強固な事業基盤、良好な収益力および資本充実度、安定的な資金調達基盤などを反映している。
- (2) 国内トップクラスの会員数や加盟店数、ブランド力などを背景に市場地位と競争力は高く、強固な事業基盤を構築している。キャッシュレス決済に関する技術や戦略提携にも先進的に取り組んでいる。21/3期のカードショッピング取扱高は、旅行、娯楽、飲食分野を中心にコロナ禍の影響を受けて減少したが、オンラインショッピングや生活分野の需要を取り込み、一定水準を確保した。コロナ問題の収束状況に注意を払う必要はあるが、今後のカードショッピング取扱高は21/3期を底に回復に向かうとみられる。
- (3) 収益力は格付相応の水準にある。会員および加盟店からのカードショッピング手数料、ショッピングリボ・分割手数料、業務受託手数料など多様な収益源を有しており、収益は比較的安定している。21/3期はカードショッピング取扱高の減少に伴い営業収益はやや落ち込んだものの、販売促進費など営業費用を抑制したことで、高い利益水準を確保した。ROA（経常利益ベース）は2%台と良好であり、償却引当前の利益による与信費用等の吸収力にも余裕がある。22/3期以降は戦略投資などを中心に営業費用が増加する計画であり、利益水準は短期的に弱含む可能性がある。ただし、カードショッピング取扱高の回復により一定の収益力が維持されるとJCRはみている。
- (4) 資産の質は良好である。保守的な与信運営がなされており、延滞債権比率や貸倒償却率は低位で安定している。コロナ禍の影響を受けつつも、与信費用の大幅な増加には至っておらず、与信費用比率は低水準を維持している。利息返還金については、返還金額が収益対比で小さく、引当金も十分に積まれている。
- (5) 資本充実度は格付に十分見合う。21年3月末の自己資本比率は20%台である。抱えるリスクは小さく、JCR調整後の自己資本比率やリスク量対比でみた資本充実度も良好な水準にある。流動性確保に特段の懸念はない。多数の金融機関と安定した取引関係を構築しており、間接調達基盤は強固である。CPや社債発行などの直接調達を通じた調達の多様化も進めている。

（担当）大山 肇・浅田 健太

■格付対象

発行体：株式会社ジェーシービー

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第26回無担保社債（適格機関投資家限定）	50億円	2014年12月24日	2021年12月14日	0.474%	AA-
第30回無担保社債（適格機関投資家限定）	20億円	2015年12月25日	2021年12月24日	0.431%	AA-
第31回無担保社債（適格機関投資家限定）	40億円	2016年9月30日	2021年9月30日	0.100%	AA-
第32回無担保社債（適格機関投資家限定）	40億円	2019年9月30日	2024年9月30日	0.180%	AA-
第33回無担保社債（適格機関投資家限定）	50億円	2020年12月24日	2023年12月22日	0.180%	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	1,500億円	J-1+

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2021年6月7日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：大山 肇
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「信販・クレジットカード」(2013年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社ジェーシービー
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル